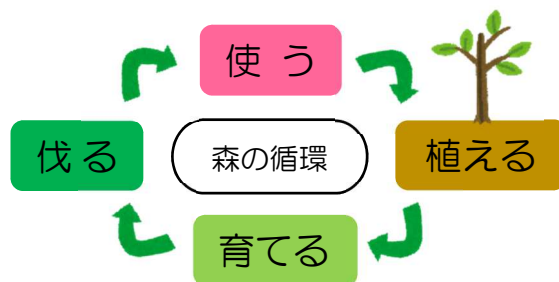


【東京都の「森づくり推進プラン」^{すいしん}とは？】

東京は、総面積の40%を森林が占めています。人々や生物にとって大切な役割を果たす、この貴重な財産を守っていくためには、「伐る」「使う」「植える」「育てる」という森林の循環じゆんかんが必要です。



現在、東京都の森林では、この循環じゆんかんが停滞ていたいしています。そこで、東京都では持続的に森林が循環するように「森づくり推進プラン」という対策に取り組んでいます。

その1つが、「次の時代じなを担う子供たちを中心とした木育活動もくいく」です。下の写真のように、実際に子供から大人までが森林に入り、木と触れ合ったり、シイタケをとったり、丸太を伐ったりして、頭ではなく身体を使って学ぶのです。そうすることで、森林の心地よさや木を伐って使うことの大切さが実感できます。東京都は、森林を持続的に循環させようと取り組んでいるのです。